



泗水小だより



泗水小学校
学校だより No43
文責 芹川博文
3月21日(木)

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」

ご卒業、おめでとうございます

～ 自分の翼で力強く羽ばたく111名の姿を思い描きながら ～



卒業生の皆さんへ (卒業式の式辞より一部抜粋)

「知ること」「学び続けること」は大切です。そう、「世界は広い、可能性はもっと広い」のです。自分で考え、悩み、もがき、自分の言葉で伝える、やってみる。そんなあなたの姿を、きっと見ていてくれる人がいます。人と人がつながる瞬間です。人はどこからでも変われます。そして、変わろうとする誰かを支える人であってほしいと願います。

保護者の皆様、地域の皆様へ

子どもたちは家族の「宝」であるとともに、地域の「宝」であり、「未来」そのものです。その子どもたちを見えるところ、見えないところで「応援団」として支えてくださった地域の皆様、PTA 活動をはじめ、様々な教育活動にご協力をいただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。私ども職員一同、行き届かなかったところも多々あったかと思えます。にもかかわらず、常にお寄せいただいた温かいご支援に対して厚くお礼を申し上げます。



20数年前、私は泗水中学校に7年間勤務させていただきました。その時の「彼ら」の子どもたちも複数いる卒業生111名。一人一人に証書を手渡すことのできる幸せを噛みしめています。ここ数日で一気に開花した校内の花たち(下の写真)。新たな門出をそっと見守っていました。



努力は伝わる 思いは伝わる

～ 環境 ISO 新聞から伝わってきたもの ～

印刷前の原稿を見て、その力(思い+時間)の掛け方が伝わってきました。字の丁寧さ、絵のクオリティーの高さ、そして内容の深さ。

全校児童への配布はもちろん、泗水支所にも置いていただいています。沢山の方が手に取り、感じていただく姿を想像しました。

環境 ISO 委員長の坂井くんに私の感動を伝えると、照れながらも誇らしそうでした。

この1年間、様々なアイデアで取り組んでくれた児童会活動。特に環境問題は地球規模で深刻です。「これからも資源を大切に、地球の環境を守る実践を行っていきたいと思います。」という言葉で編集後記は締めくくられていました。努力と思いの詰まった一枚の重みを感じました。



1年間 本当にお世話になりました

～ 泗水小を応援していただいている皆様へ～



改めて泗水の良さを噛みしめた1年でした。支えてくださる方々の温かさ。そして思いの深さ。私はいつも皆様との会話で元気をいただくとともに、このご期待に少しでも応えたいと思いを新たにさせていただきました。

上の写真は、卒業式前に中庭をきれいにいただいたスクールガーデニングクラブの皆様です。その中のお一人が「今週はいきなり団子づくりも行きましたが、子どもたちのキラキラした目を見ると嬉しくなりました」とのことでした。話されるその方の表情が、私にとってはキラキラ輝いて見えました。力をいただきました。

今年度「泗水小だより」は、これにて終了します。1年間、本当にありがとうございました。